

## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 マックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6454 URL <https://www.max-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒 沢 光 照

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 北 谷 明 雄

TEL 03-3669-8106

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・ファンドマネージャ向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	34,885	2.0	4,065	18.5	3,913	5.2	2,858	9.7
2019年3月期第2四半期	34,207	3.9	3,429	19.3	3,720	24.3	2,605	13.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,331百万円 ( 19.5%) 2019年3月期第2四半期 2,894百万円 ( 19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	58.44	
2019年3月期第2四半期	52.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	97,323	74,127	76.1	1,513.56
2019年3月期	98,174	73,950	75.2	1,509.80

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 74,024百万円 2019年3月期 73,840百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				44.00	44.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	0.5	7,900	10.5	7,800	7.5	5,400	6.6	110.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	49,141,426 株	2019年3月期	49,141,426 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	233,956 株	2019年3月期	233,737 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	48,907,590 株	2019年3月期2Q	49,267,084 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	14
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	14
(セグメント情報等)	14

[定性的情報・財務諸表等]

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

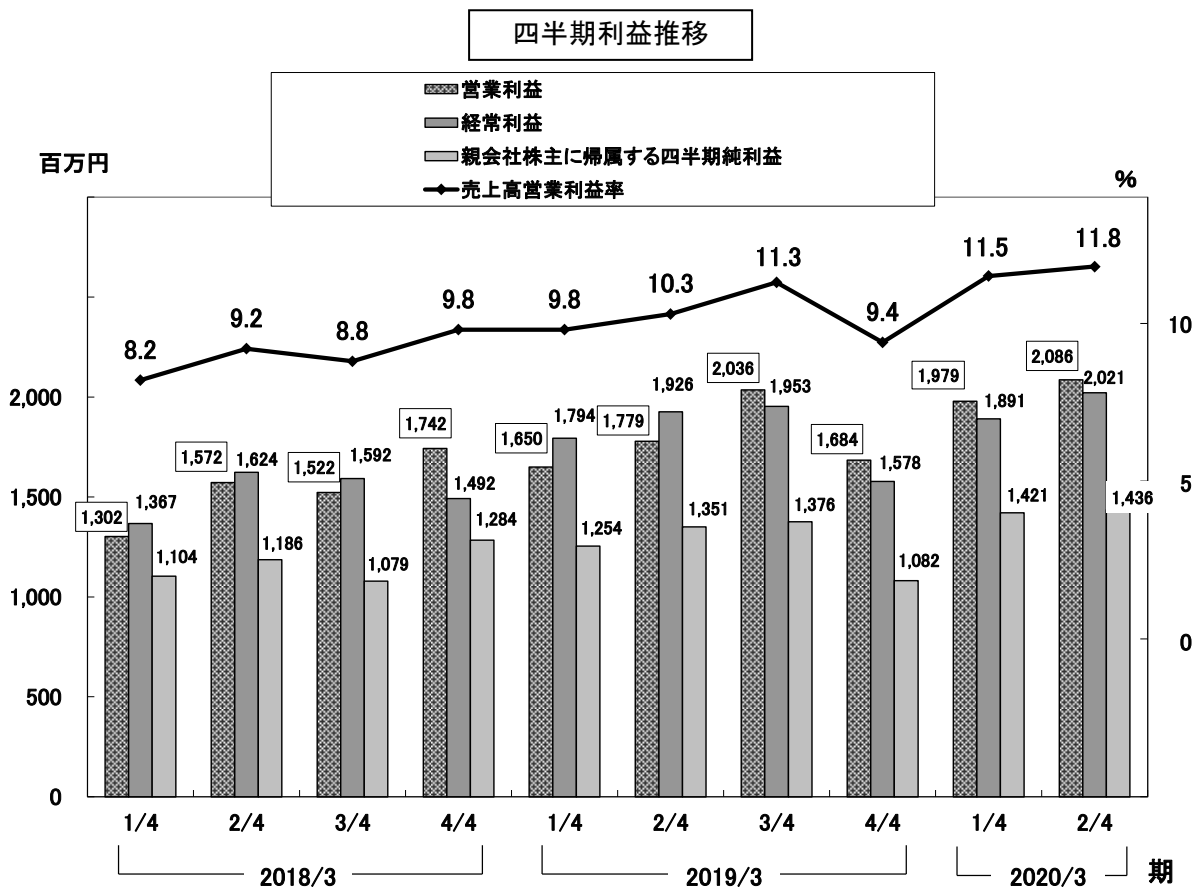
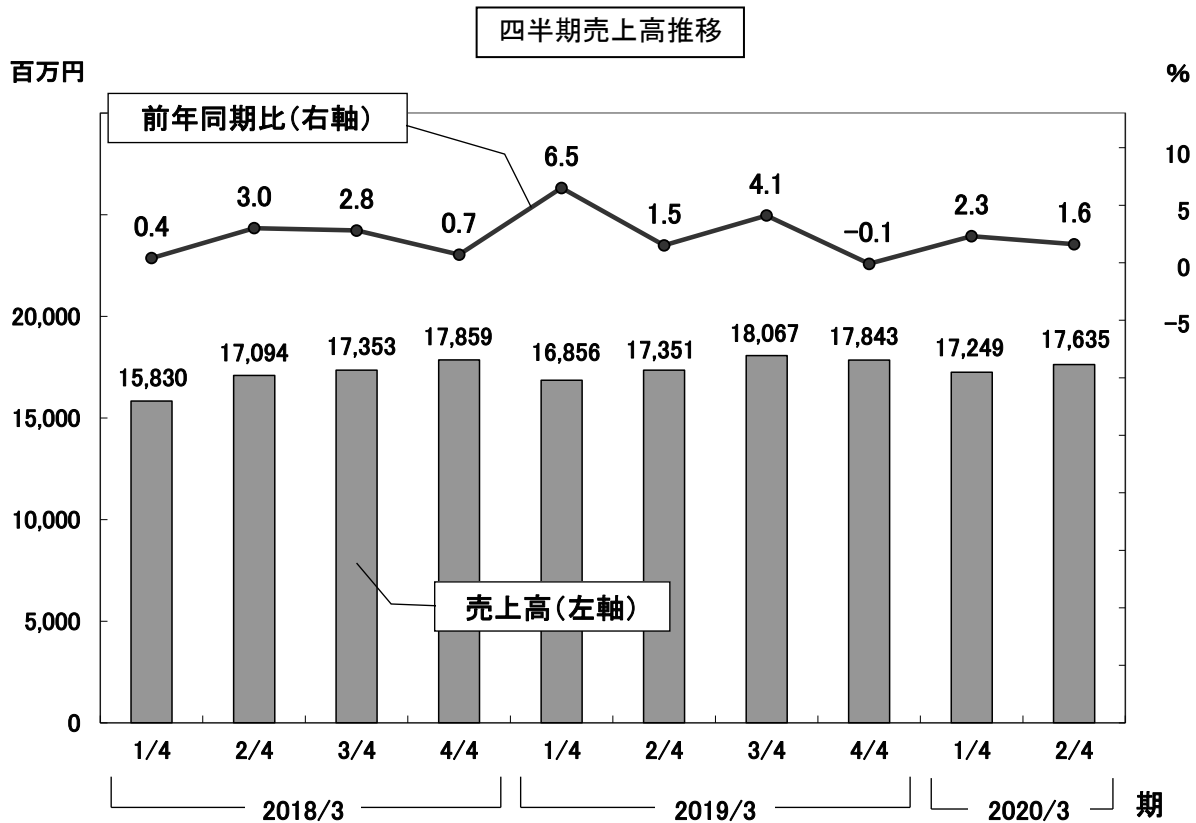
## ① 第2四半期連結累計期間の全社業績

(単位:百万円、%)

	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	34,885	34,207	+677	+2.0
営業利益	4,065	3,429	+635	+18.5
経常利益	3,913	3,720	+192	+5.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,858	2,605	+252	+9.7
1株当たり四半期純利益	58.44	52.89	+5.55円	—
営業利益率	11.7	10.0	+1.7ポイント	

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いています。当社インダストリアル機器部門に関連する住宅市場は、貸家の落ち込みが継続したことにより国内新設住宅着工件数は減少しました。海外経済では、米国経済は良好な雇用所得環境による個人消費の下支えにより景気回復が継続、欧州経済の景気は緩やかに回復しましたが、アジア経済では米中貿易摩擦の長期化などにより一部に弱い動きがみられるなど、当社を取り巻く環境は先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で、当期はインダストリアル機器部門が全社売上高を牽引し、売上高は348億8千5百万円(前年同期比2.0%の増収)、営業利益は40億6千5百万円(同18.5%の増益)となりました。経常利益は39億1千3百万円(同5.2%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億5千8百万円(同9.7%の増益)となりました。



## ②第2四半期連結累計期間の部門別業績

## 『オフィス機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,970	11,087	△117	△1.1
セグメント利益	2,501	2,445	+56	+2.3
セグメント利益率	22.8	22.1	+0.7ポイント	

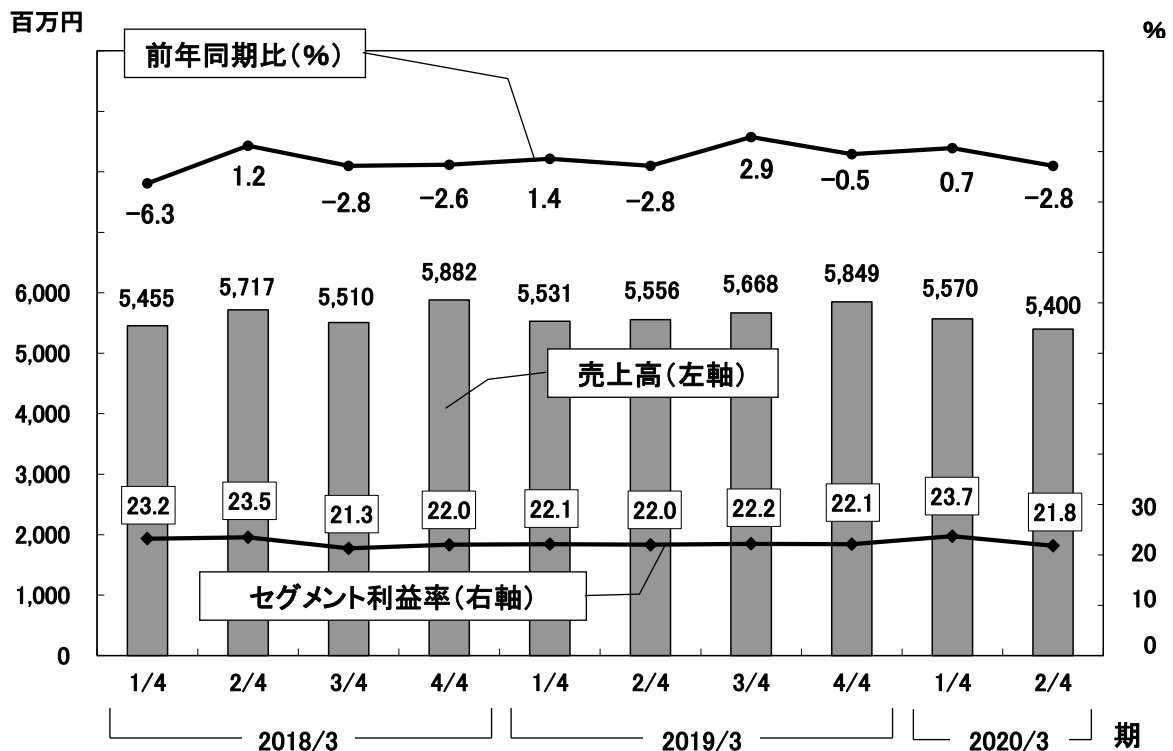
オフィス機器部門は、売上高109億7千万円(前年同期比1.1%の減収)、セグメント利益は25億1百万円(同2.3%の増益)、セグメント利益率は22.8%となりました。

「国内オフィス事業」は、表示作成機「ビーポップ(B e p o p)」の販売が、製造工場での安全表示の用途で導入が進み、増加しました。また、2020年4月に完全移行される食品表示法へ対応したラベルプリンタの販売も増加し、増収となりました。

「海外オフィス事業」は、表示作成機「ビーポップ」の販売が、英国子会社のライトハウス社の拡販により欧州市場で増加したものの、アジア市場において文具関連製品やチューブマーカー「レタツイン」の販売が減少し、事業全体で減収となりました。

「オートステープラ事業」は、消耗品の販売は前年水準となったものの、機械の販売が減少し、減収となりました。

オフィス機器部門売上高推移



『インダストリアル機器部門』

(単位：百万円、%)

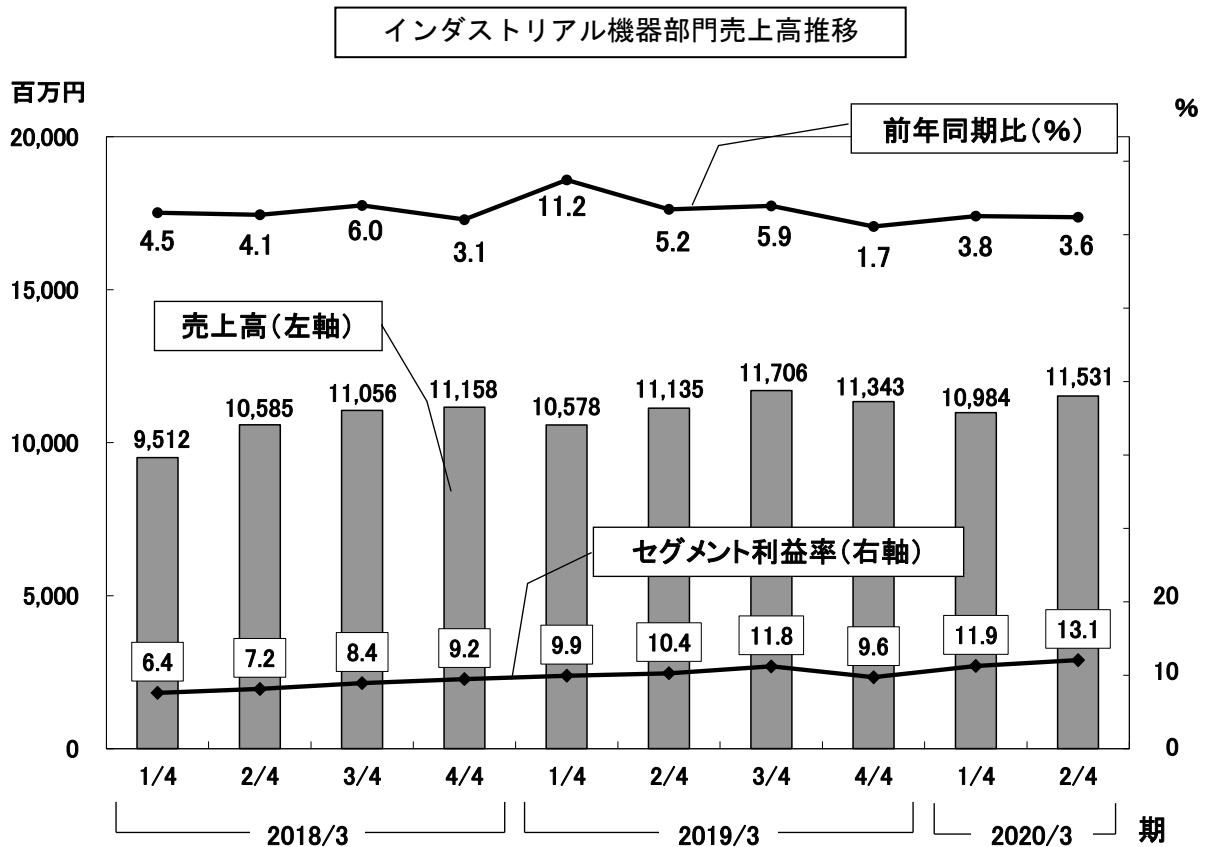
	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,516	21,713	+802	+3.7
セグメント利益	2,815	2,206	+608	+27.6
セグメント利益率	12.5	10.2	+2.3ポイント	

インダストリアル機器部門は、売上高225億1千6百万円(前年同期比3.7%の増収)、セグメント利益は28億1千5百万円(同27.6%の増益)、セグメント利益率は12.5%となりました。

「国内機工品事業」は、鉄筋結束機「ツインタイヤ」が土木市場などでの開拓が進んだことによりコンクリート構造物向け工具の販売が増加しました。また、コンプレッサなどの木造建築物向け工具の販売も増加し、増収となりました。

「海外機工品事業」は、鉄筋結束機「ツインタイヤ」の機能性が評価され、土木市場での導入や既存機種からの置き換えが進み、コンクリート構造物向け工具の販売が増加し、増収となりました。

「住環境機器事業」は、主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が戸建て住宅やマンション向けで伸長、またリプレース・点検のストック市場向けでも増加し、増収となりました。



## 『HCR機器部門』

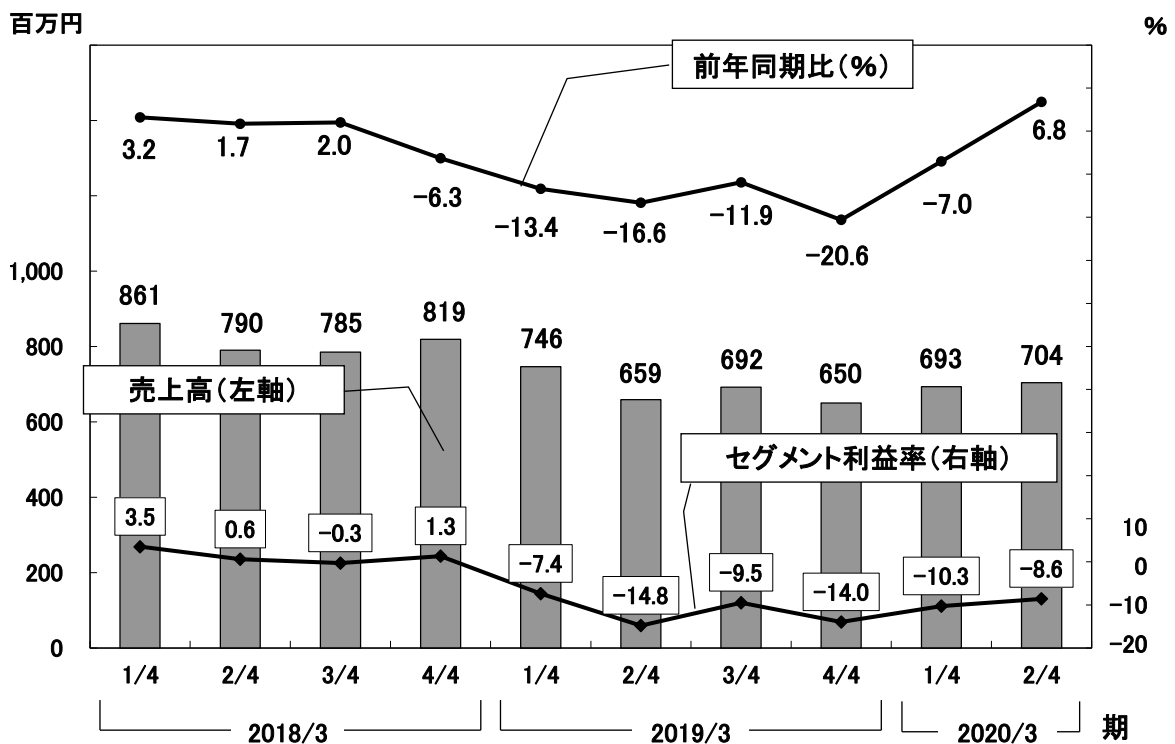
(単位：百万円、%)

	当期 (2020年3月期)	前期 (2019年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,397	1,405	△7	△0.6
セグメント利益	△132	△153	+21	—
セグメント利益率	△9.5	△10.9	+1.4ポイント	

HCR機器部門は、売上高は13億9千7百万円（前年同期比0.6%の減収）、セグメント利益は△1億3千2百万円となりました。

旧製品の販売終了と高単価車いすの販売が減少しましたが、前期後半より販売をスタートした新製品車いす「モダンシリーズ」の採用提案を進めたことにより、第2四半期の売上高は回復基調となりました。

HCR機器部門売上高推移





## (2) 財政状態に関する説明

## 連結貸借対照表 要約

(単位：百万円、%)

	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)	前連結会計年度 (2019年3月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率
総資産	97,323	98,174	△851	△0.9
純資産	74,127	73,950	176	0.2
自己資本比率	76.1	75.2	+0.9ポイント	

資産の部は、前連結会計年度末に比べ、8億5千1百万円減少し、973億2千3百万円となりました。流動資産については、有価証券が18億8百万円、受取手形及び売掛金が5億6千万円、現金及び預金が4億5千6百万円減少したことなどにより、30億9千1百万円減少しました。固定資産については、投資有価証券が18億5百万円、有形固定資産が3億5千8百万円増加したことなどにより、22億4千万円の増加となりました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ、10億2千7百万円減少し、231億9千6百万円となりました。流動負債については、買掛金が3億6百万円、賞与引当金が2億7千8百万円減少したことなどにより、7億5千9百万円減少しました。固定負債については、退職給付に係る負債が3億円減少したことなどにより、2億6千8百万円減少しました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ、1億7千6百万円増加し、741億2千7百万円となりました。株主資本は、配当金の支払21億5千1百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が28億5千8百万円あったため7億5百万円の増加となりました。

その他の包括利益累計額については、為替換算調整勘定が4億1千4百万円減少したことなどにより、5億2千2百万円減少しました。

## キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が4億5千6百万円減少したことにより、217億3千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、40億3千万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が39億7千1百万円、減価償却費が12億2千万円、一方で主な減少は、法人税等の支払額が10億3千9百万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、19億3千7百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が30億7千7百万円、一方で主な減少は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が35億1千万円、有形固定資産の取得による支出が14億4千6百万円です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、22億6千4百万円となりました。主な減少は、配当金の支払額が21億4千8百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位:百万円、%)

	今回修正 通期業績予想	前回発表 通期業績予想	前回差		前年通期実績	前年差	
			増減額	増減比		増減額	増減比
売上高	70,500	72,350	△1,850	△2.6	70,118	+381	+0.5
営業利益	7,900	7,450	+450	+6.0	7,150	+749	+10.5
経常利益	7,800	7,600	+200	+2.6	7,253	+546	+7.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,400	5,250	+150	+2.9	5,064	+335	+6.6
1株当たり 当期純利益	110.41円	107.35円	+3.06円		102.92円	+7.49円	

※2020年3月期下半期想定為替レート 米ドル105円、ユーロ115円 (従来想定)米ドル110円、ユーロ125円

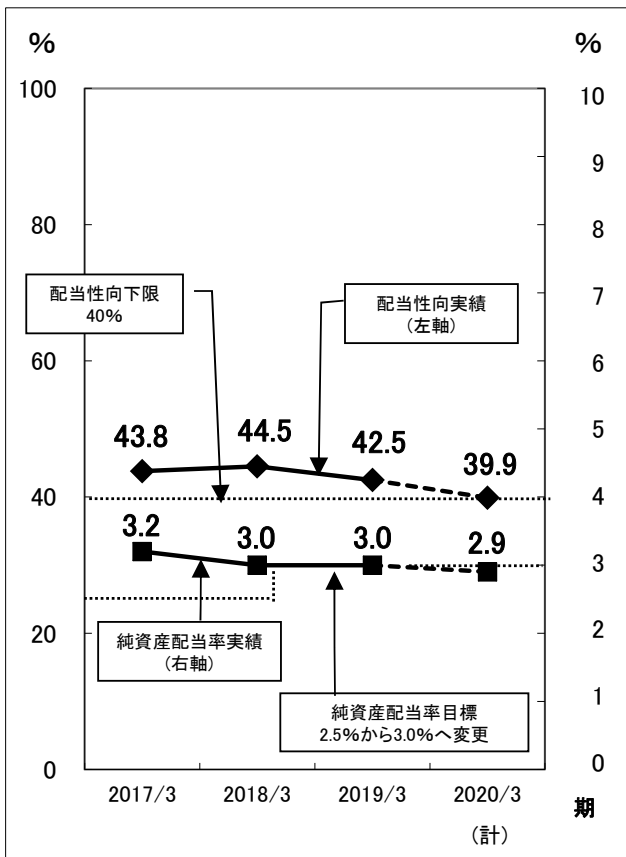
当第2四半期累計期間の業績動向、下半期の想定為替レート変更をふまえ、通期業績予想を修正しました。前回予想に対して売上高は減少するものの、鉄筋結束機「ツインタイヤ」や表示作成機「ビーポップ」などの事業が堅調であることや想定為替レートの変更による原価の低減を織り込み、営業利益を上方修正し、それに伴い経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も修正いたします。

## 配当の状況

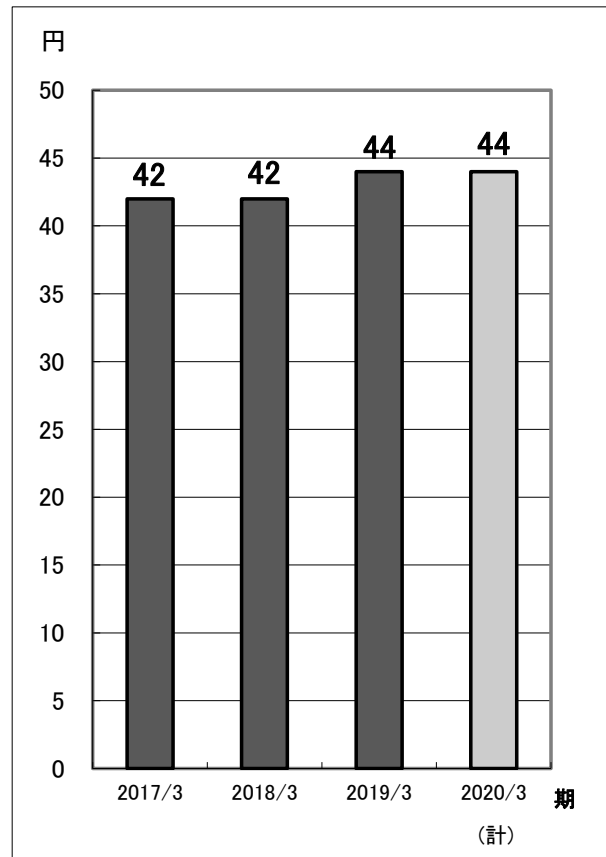
当社の配当方針は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率3.0%を目指す」を基本方針としています。

当期は、先行き不透明な経済環境や為替動向などが当社業績に影響を及ぼす可能性があります、前期と同様の「1株当たり年間配当金44円」とする予定です。

配当性向及び純資産配当率



1株当たり配当金



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,190	21,733
受取手形及び売掛金	14,394	13,834
有価証券	4,915	3,107
商品及び製品	6,095	5,954
仕掛品	782	927
原材料	1,097	985
その他	1,075	916
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	50,549	47,458
固定資産		
有形固定資産	19,188	19,546
無形固定資産	228	260
投資その他の資産		
投資有価証券	23,552	25,358
その他	4,662	4,705
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	28,208	30,058
固定資産合計	47,624	49,865
資産合計	98,174	97,323
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,713	3,407
短期借入金	1,850	1,850
未払法人税等	1,082	1,109
賞与引当金	1,753	1,474
役員賞与引当金	44	19
製品保証引当金	112	154
その他	3,723	3,504
流動負債合計	12,279	11,519
固定負債		
長期借入金	150	150
製品保証引当金	14	15
退職給付に係る負債	10,799	10,498
資産除去債務	29	30
その他	952	983
固定負債合計	11,945	11,676
負債合計	24,224	23,196

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,367	12,367
資本剰余金	10,517	10,517
利益剰余金	51,533	52,239
自己株式	△319	△319
株主資本合計	74,099	74,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,417	1,034
土地再評価差額金	△339	△339
為替換算調整勘定	△82	△496
退職給付に係る調整累計額	△1,253	△979
その他の包括利益累計額合計	△258	△781
非支配株主持分	109	102
純資産合計	73,950	74,127
負債純資産合計	98,174	97,323

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	34,207	34,885
売上原価	20,824	20,425
売上総利益	13,383	14,459
販売費及び一般管理費		
給料	2,827	2,838
賞与引当金繰入額	943	887
役員賞与引当金繰入額	20	19
退職給付費用	546	504
荷造及び発送費	1,122	1,155
販売促進費	651	830
減価償却費	313	412
その他	3,527	3,744
販売費及び一般管理費合計	9,953	10,394
営業利益	3,429	4,065
営業外収益		
受取利息	30	33
受取配当金	78	80
負ののれん償却額	3	—
為替差益	163	—
その他	57	47
営業外収益合計	333	160
営業外費用		
支払利息	19	19
租税公課	2	8
為替差損	—	261
その他	20	23
営業外費用合計	42	312
経常利益	3,720	3,913
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	118
特別利益合計	—	119
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産廃棄損	10	39
減損損失	—	21
特別損失合計	13	61
税金等調整前四半期純利益	3,707	3,971
法人税等	1,099	1,111
四半期純利益	2,607	2,859
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,605	2,858

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,607	2,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△382
為替換算調整勘定	37	△420
退職給付に係る調整額	299	274
その他の包括利益合計	287	△528
四半期包括利益	2,894	2,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,893	2,335
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,707	3,971
減価償却費	1,079	1,220
のれん償却額	70	—
負ののれん償却額	△3	—
減損損失	—	21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△236	△277
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△24
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△0	43
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	126	93
受取利息及び受取配当金	△108	△113
支払利息	19	19
為替差損益(△は益)	40	12
固定資産廃棄損	10	39
固定資産売却損益(△は益)	3	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△118
従業員預り金の増減額(△は減少)	70	△79
売上債権の増減額(△は増加)	927	391
たな卸資産の増減額(△は増加)	△305	△2
仕入債務の増減額(△は減少)	△106	△102
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16	75
その他の資産の増減額(△は増加)	76	31
その他の負債の増減額(△は減少)	162	△256
小計	5,495	4,945
利息及び配当金の受取額	158	150
利息の支払額	△19	△25
法人税等の支払額	△965	△1,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,668	4,030
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,952	△3,510
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,900	3,077
有形固定資産の取得による支出	△1,706	△1,446
有形固定資産の売却による収入	9	0
無形固定資産の取得による支出	△36	△78
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	32	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,754	△1,937
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,066	△2,148
非支配株主への配当金の支払額	△0	△1
リース債務の返済による支出	△111	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,179	△2,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△256	△456
現金及び現金同等物の期首残高	23,722	22,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,465	21,733

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	11,087	21,713	1,405	—	34,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,087	21,713	1,405	—	34,207
セグメント利益又は損失(△)	2,445	2,206	△153	△1,069	3,429

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△1,069百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,069百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	10,970	22,516	1,397	—	34,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,970	22,516	1,397	—	34,885
セグメント利益又は損失(△)	2,501	2,815	△132	△1,119	4,065

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△1,119百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,119百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。